

福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和2年12月23日 第11号

甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○2学期が終わりました ～自粛の中でも楽しみを見つけて～

年末を迎え、寒さが一段と厳しくなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか。

群馬県では新型コロナの警戒度が4になり、不要不急の外出や大人数での会食を控えるように要請が出ています。窮屈な年末年始になりそうですが、感染予防対策をしっかりとって家族で楽しい冬休みを過ごしてください。

2学期を振り返ると、新型コロナの影響で当初の予定の中止や、規模を縮小しての行事の開催となりました。体育の授業の発表としての運動発表会や、方面の変更や宿泊をとりやめた修学旅行など、例年とは違う内容の行事となりました。しかし、子どもたちは1つ1つの行事を経験することで、身も心も成長することができました。大きな怪我も事故もなく、元気に学校生活を送れたことを大変嬉しく思います。

さて、明日から冬休みです。先日行われた「冬休み集会」では、児童会本部役員から全校児童に向けて、冬休みの過ごし方について3つの提案がありました。早寝・早起きをすること、お手伝いをする、ゲームやテレビの時間を守ることの3つです。どれも大切なことです。そして、本日の終業式で私は、感染症には十分に気をつけることと、1年の目標を立てることの話をしました。「1年の計は元旦にあり」といいます。親子で1年の目標を話し合って立てて、その達成に向けてお子さんを励ましていただけたらと思います。

保護者の皆様には、今年も大変お世話になりました。来年も引き続きよろしく申し上げます。3学期は1月7日から始まります。子どもたち全員の元気な姿に会えるのを楽しみにしています。

○甘楽町いじめ防止こども会議 ～明るい未来の甘楽町に～

本校の学校図書館に、甘楽中、小幡小、新屋小の児童会・生徒会本部役員が集まり、4校合同で「いじめ防止子ども会議」を開催しました。

前半は、各学校が今年度のいじめ防止の取組についてスライドで発表しました。後半は、各学校の児童・生徒が交ざったグループを作り、いじめと思われる場面を出し合い、その解決方法を話し合って発表しました。甘楽中学校の生徒がしっかりとリーダーシップをとって、小学生の意見を上手にまとめてくれました。

いじめはいつでも誰にでも起こり得ます。また、誰もが被害者にも加害者にもなり得ます。そのことを誰もが意識して、いじめが起らないように努力していかなければなりません。誰かをいじめることは決して許されませんが、傍観者になったり、見て見ぬふりをしたりすることも絶対にはいけません。寂しそうながいたら声をかけるとともに、子どもたちだけで解決できそうもない時は、大人に相談することが大切です。

この会議の成果をこれからも各学校で継続し、いじめのない甘楽町にしていってほしいと思います。



○お知らせ ～ぜひ、ご覧ください～

甘楽町広報1月号「教育のひろば」（12月28日発行）に、本校の読書教育の特集が掲載されます。読書好きな子どもを育てるための「学校図書館の取組」を紹介しています。